


香川の  
土地改良



発行所

香川県土地改良事業団体連合会

高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



前山ダム (さぬき市)

## 目 次

1. 香川用水通水 40 周年記念式典挙行 .....2
2. 農業農村整備の集い開催 .....3
3. 平成 26 年度水土総合強化推進事業（技術力向上事業）研修会開催 .....4
4. 平成 26 年度換地計画実務研修会開催 .....5
5. 第 69 回農業農村工学会中国四国支部講演会及び支部表彰式 .....6
6. 平成 26 年度第 2 回香川県土地改良施設管理円滑化事業  
推進委員会管理専門指導員会開催 .....6
7. 土地改良区だより 観音寺市豊田土地改良区 .....7
8. 会と催し .....8

## 香川用水通水 40 周年記念式典挙行



挨拶する浜田恵三香川県知事

去る 11 月 22 日、香川用水通水 40 周年記念式典が三豊市の財田町公民館で行われ、浜田香川県知事をはじめ、関係者約 200 人が出席した。

香川用水は、県内の慢性的な水不足を抜本的に解消するため、昭和 43 年に着工し、49 年 5 月 30 日に通水を開始した多目的水路であり、高知県の「早明浦ダム」によって蓄えられた吉野川の水を徳島県の池田ダムから阿讃導水トンネルを経て県内に導水している。現在、8 市 6 町で、農業用水をはじめ、上水道用水、工業用水として利用され、本年 9 月 3 日には昭和 49 年の通水以降、香川用水取水量の累計が約 70 億 $\text{m}^3$ に達した。

浜田知事は、「香川用水は、水源地の方々との協力により生まれた友情の水であり、香川用水の歴史を後世に伝え、大切に活用することが重要である。」と挨拶された。また、水資源機構の甲村謙友理事長は、「県民生活の安定と産業の発展に寄与するよう、管理に万全を期してまいりたい。」と決意を述べられた。

この後、県が企画編集した記念番組「ケロくんとたどる香川用水 40 年 命の水を分かち合う」が上映され、出席者は渇水の歴史を振り返りながら、香川用水事業の功績をたどった。最後に、浜田知事から水源地の代表者に記念品が贈呈された。また、会場では、伝統芸能の三豊市財田町の「鉞踊り」や水源地である高知県の町の「本川神楽」が披露され、地域間の交流を深めた。



本川神楽



鉞踊り

## 農業農村整備の集い開催

去る 11 月 25 日、「農業農村整備の集い」が東京都千代田区のシェーンバッハ・サボアにおいて開催された。

集いには、全国から農業農村整備事業関係者が多数参加し、本県からは、本会の山地常務理事をはじめ、各地区の土地改良協議会などから 10 名が参加した。

全土連の野中広務会長は、全国土地改良大会への参加に対するお礼の後、「来年度の農業農村整備事業予算については、今般、政府において検討されている新たな経済対策における農業農村整備事業予算を加えて、充実した内容とともに、この集いを契機として、予算の確保に努めてまいりたい。」と挨拶された。

次に、来賓として出席された小泉農林水産副大臣から、農業農村整備事業は、現在、全国において意欲的に事業が展開されている。平成 27 年度においても、農業の競争力を強化するための農地の大区画化、汎用化や国土強靱化に資する農業水利施設の耐震化、長寿命化などを推進していくために予算の確保に努めたい。また、石破地域創生担当大臣から、今後、食料生産の目標については、自給率ではなく、自給力を高めるためへの尽力、さらに二階自由民主党総務会長、稲田政務調査会長からは農業生産基盤整備の重要性に鑑み、国土強靱化や日本型直接支払制度の充実に向けた予算確保など、激励の挨拶があった。

一方、情勢報告として、三浦農林水産省農村振興局長から「攻めの農林水産業の実行」と「国土強靱化」に向けた取組状況や平成 27 年度予算の概算要求などの説明があった。

また、農業農村整備事業の効果について、秋田県大仙市の農事組合法人「たねっこ」から、ほ場整備を契機とした法人化への取組みによる地域の活性化や地域農業の保全・発展に向けた取組事例、兵庫県明石市の江井ヶ島土地改良区から、安全・安心や多面的機能を活かすため池に関する各種の活動事例の紹介があった。その後、要請書及び緊急要請が採択され、ガンバロウ三唱で盛会裏に集いが終了した。

集いの終了後、本会では県選出国會議員に対し、安定的かつ計画的な事業執行のため、現場のニーズに十分に答えられる農業農村整備事業予算の確保とともに、食料自給率の向上と担い手への農地集積の加速化を実現し、強い農業を展開するため、各種の対策を推進するなどの要請活動を行なった。



挨拶をする全土連の野中会長



木村義雄参議院議員に要望書を手渡す森川代表監事



三宅伸吾参議院議員に要望書を手渡す森川代表監事

## 平成 26 年度水土総合強化推進事業（技術力向上事業）研修会開催

本年度の水土総合強化推進事業(技術力向上事業)研修会を 11 月 7 日、高松市の香川県総合福祉センターを皮切りに、11 月 13 日には丸亀市の綾歌総合文化会館アイレックス、翌 14 日には三豊市の三豊市高瀬町農村環境改善センターの 3 会場において開催した。

この研修会は、農業従事者の高齢化や農村地域の都市化、混住化の進行等による集落機能の低下に伴い施設の管理が困難となっている中、土地改良区の体制強化と土地改良区役職員等の技術力向上を図ることを目的としている。特に本年度は、土地改良区の運営体制の強化を図るため、土地改良区の会計経理や監事の役割と実務を取り上げて開催し、延べ約 150 名が受講した。

研修会では、冒頭、本会山地常務理事から農業農村整備事業の現状と出席に対するお礼の挨拶の後、下記の研修科目により講義が行われた。



挨拶をする本会の山地常務理事

研 修 科 目	講 師
ため池多面的機能を活かすための貯水管理 — 洪水調節計画を中心に —	香川大学工学部安全システム建設工学科 教授 角道 弘文
土地改良区の現状と課題	中国四国農政局農村計画部土地改良管理課 課 長 島尾 政司 団体指導・資金係長 田村 大 行政専門員 大木 昭一
土地改良区監事の役割と実務	中国四国農政局農村計画部土地改良管理課 課長補佐 川嶋 等 土地改良指導官 尾崎 芳幸
土地改良区の会計経理	香川県農政水産部土地改良課 副主幹 岡田 直樹
日本型直接支払と土地改良区の関わり	農地・水・保全向上対策地域協議会 事務局長 岡 賢治 (東讃地域協議会) 事務局長 大河 仁司 (中讃地域協議会) 事務局長 藤井 英明 (西讃地域協議会)



香川大学工学部安全システム建設工学科 角道教授



中国四国農政局農村計画部土地改良管理課  
尾崎土地改良指導官

# 平成 26 年度 換地計画実務研修会開催

去る 12 月 4 日、香川県東讃土地改良事務所、5 日には、香川県中讃土地改良事務所において、平成 26 年度換地計画実務研修会を開催した。

この研修会は、換地技術の強化をはじめ、換地業務の円滑な推進や土地改良区役職員の換地業務等に関する知識の向上を目的に毎年開催している。

両会場とも開会に当たり、山地本会常務理事から農業農村整備事業の現状などの挨拶の後、換地理論や圃場整備を契機とした集落営農の推進、土地改良法の概要などについて研修を行い、延べ 86 名の土地改良区職員等が参加し、換地業務等に関する知識の向上に努められた。



挨拶をする本会の山地常務理事  
(香川県東讃土地改良事務所)



中国四国農政局  
鈴木農地集団化推進官



香川県土地改良課 岡田副主幹



香川県土地改良課 岩佐副主幹



香川県農業経営課 森副主幹



農地機構 日野事務局次長



農地機構 眞田参事

研 修 科 目	講 師
換地理論	中国四国農政局農村計画部土地改良管理課 農地集団化推進官 鈴木 理之
土地改良法の概要について	香川県農政水産部土地改良課 副主幹 岡田 直樹 副主幹 岩佐 省三
集落営農の推進について	香川県農政水産部農業経営課 副主幹 森 芳史
農地中間管理機構について	公益財団法人香川県農地機構 事務局次長 日野 潤 参 事 眞田 幸隆

## 第 69 回 農業農村工学会 中国四国支部 講演会 及び 支部表彰式

去る 11 月 5 日、6 日の 2 日間、鳥取県鳥取市の「とりぎん文化会館」において、第 69 回農業農村工学会中国四国支部講演会及び第 38 回地方講習会が開催された。

講演会は、農業農村工学会の松尾芳雄中国四国支部長の開会挨拶で始まり、農業農村工学会の渡邊紹裕会長の挨拶、鳥取県農林水産部の岸田悟部長から歓迎の挨拶が述べられた。引き続き、支部表彰式が行われ、昨年、香川県で開催された本講演会において受賞した優秀賞 6 団体、奨励賞 6 名、研鑽賞 2 名に表彰状が授与された。香川県関係では、研鑽賞に香川県東讃土地改良事務所の白井謙二氏、優秀賞に本会が発表した「ため池の決壊による氾濫解析システムについて」が受賞した。その後、研究者及び事業所等から研究や事業の取組みなどの成果が発表され盛会裡に閉会した。



## 平成26年度第2回香川県土地改良施設管理円滑化事業推進委員会 管理専門指導員会開催

去る 12 月 3 日、香川用水記念会館 5 階演習室において平成 26 年度第 2 回香川県土地改良施設管理円滑化事業推進委員会管理専門指導員会が開催された。

香川県農政水産部飯間次長出席のもと、平成 27 年度土地改良施設維持管理適正化事業新規加入予定 8 地区に係る施設補修計画並びに年度別実施計画について協議を行った。



平成 27 年度新規加入予定地区			
・高松市前田土地改良区	男井間 4 号堰	頭首工補修	1 式
・善通寺市土地改良区	道池	堆積土浚渫	1 式
・善通寺市土地改良区	善通寺西部 (畑かん)	揚水ポンプ他補修他	1 式
・三豊市	的場排水機 I	排水機補修	1 式
・三豊市	的場排水機 II	排水機補修他	1 式
・三豊市	三野左岸排水機	遠心クラッチ補修他	1 式
・三豊市	峰の岡 (水路)	堆積土浚渫	1 式
・観音寺市観音寺町土地改良区	八幡排水機	排水機補修他	1 式

## ～土地改良区だより～

### 観音寺市豊田土地改良区（観音寺市）

観音寺市豊田土地改良区は、農業生産基盤の整備を図り、農業生産性の向上はもとより、農業生産の選択的拡大や農業構造の改善等を目的に、昭和 27 年 8 月に設立された。

当土地改良区は、観音寺市新田町をはじめ、原町、池之尻町の全域及び古川町と中田井町の一部地域を所管する。これらの地域は、地名が示すように開墾によって新たに造成された新田町、もともと野田原と呼ばれていた地域が開墾され、野田の原村と呼ばれたことが語源の原町など、農地造成に古くから取り組まれてきた。

また、造成された農地を含め、多くの農地にとって農業用水を安定的に確保する必要があったが、県内の他地域と同様に降雨に恵まれないことから、しばしば渇水被害を受けてきた。このため、先人たちは数多くのため池の築造や嵩上げを実施し、農業用水の安定確保に努めてきた。その結果、現在、仁池をはじめ、大小合わせて 46 箇所のため池が管内の農業用水源として主要な位置を占めている。なお、経年変化によるため池の老朽化に対応するため、現在、県営農村地域防災減災事業「豊田・栗井地区」でもって、亀尾池外 6 箇所のため池の改修に取り組んでいる。

一方、豊田、辻村の干ばつ被害を防止することを目的に、旧山本町河内の逆瀬池を増築し、この水を小原池や仁池まで導水する中部用水土地改良事業が計画され、昭和 17 年に着工した。しかし、戦争の激化に伴い工事が中断し、戦後の昭和 23 年に再開されて昭和 30 年 8 月ようやく完成した。これにより豊田・辻地区の常襲干ばつ被害は解消された。しかし、なお不足する農業用水対策として香川用水が導水され、香川用水の各分水工からため池へ、ため池から農地へと水路で繋がり、抜本的な水不足が解消された。

さらに、農地の整備については、県営ほ場整備事業「観音寺地区」（整備面積：119.1ha）や地区再編農業構造改善事業「豊田北部地区」（整備面積：19.5ha）などで整備された結果、整備率は約 62%と県内の他地域に比べて整備が促進され、省力化等による効率的な農業生産活動が行われている。

管内の農業は、稲作を中心に、レタスや玉ねぎ、ブロッコリーなどの野菜を栽培しており、特にレタスについては、本県を代表する「らりるれレタス」の生産団地の一角を形成している。

昨今の農業を取り巻く環境が激動するなか、藤原理事長をはじめ、土地改良区役員が一丸となり、地域農業の更なる発展を目指し、ため池など農業用施設の整備はもとより、適切な管理や農業用水の円滑な配水に鋭意取り組んでいる。



レタス畑



藤原 博理事長

#### 土地改良区の概要

所在地	観音寺市大野原町大野原 1260 番地 1 (観音寺市大野原支所内)
設立年月日等	昭和 27 年 8 月 2 日 香川県第 79 号
関係市町	観音寺市
管内農地面積	242 ha (田 224 ha 畑 18 ha)
組合員数	595 人 (総代 34 人)
役員数	理事 13 人、監事 3 人

## 会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
11 月 7 日	平成 26 年度水土総合強化推進事業（技術力向上事業）研修会	高松市
13 日	平成 26 年度水土総合強化推進事業（技術力向上事業）研修会	丸亀市
〃	第 1 回香川県農業農村整備事業環境情報協議会	高松市
〃	平成 26 年度農業集落排水施設に係る新技術普及研究会ブロック会議	愛媛県
14 日	平成 26 年度水土総合強化推進事業（技術力向上事業）研修会	三豊市
18 日	農林年金一時金選択推進担当者研修会	高松市
22 日	香川用水通水 40 周年記念式典	三豊市
25 日	農業農村整備の集い	東京都
27 日	中国四国土地改良事業団体連合会技術部会	島根県
12 月 3 日	平成 26 年度換地計画実務研修会	高松市
4 日	平成 26 年度第 2 回香川県土地改良施設管理円滑化事業推進委員会 管理専門指導員会	高松市
〃	平成 26 年度小豆郡土地改良事業推進協議会第 2 回研修会	小豆島町
5 日	平成 26 年度換地計画実務研修会	善通寺市
〃	第 72 回新川沿岸土地改良区連合理事会	高松市
8 日 ～12 日	土地改良区基盤強化事業施設管理コース研修（後期）	埼玉県

## 土地改良相談所開設

### 定期相談日

毎月 5 日、15 日、25 日に香川県土地改良事業団体連合会の本部及び各支所で開設しています。

出張相談も行っておりますので、お気軽にご相談下さい。

相談業務の範囲は次のとおりです。

1. 土地改良事業に関する苦情、紛争などについての調停及び指導
2. 土地改良事業計画の作成及び工事の実施に関する助言及び指導
3. 土地改良事業主体の運営上の問題に関する助言及び指導
4. 土地改良施設の機能、検査等維持管理に関する援助及び指導
5. 農業水利に関する調停及び指導
6. 土地改良法令に関する指導
7. 換地処分その他農用地集団化に関する援助及び指導
8. その他